第29期

事 業 報 告 書

2000年4月1日から2001年3月31日まで

ローランド株式会社

証券コード
7944

ローランド株式会社

財務ハイライト（単独）

３月３１日に終了した事業年度 単位：百万円（１株当たり金額を除く）	当期	前期
売上高	29,617	33,616
経常利益	977	3,188
当期利益	1,053	2,301
１株当たり当期利益（円）	41.19	90.39
総資産	47,739	48,078

注）会計処理方法の変更により、当期よりロイヤリティー収入を売上高に含めて計上しています。

ローランド企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう

BIGGESTよりBESTになろう

共感を呼ぶ企業にしよう

ローランド独自の企業活動の根底にある精神は、上記３つのスローガンに集約されます。これこそ当社の企業としての意志であり、無限の可能性を秘めた音創りの明日に向かって、果てしなく広がる、大きな夢の源にほかなりません。これからのローランドにどうぞご期待ください。

目次

株主のみなさまへ	1
営業の概況（単独）	2
業績の推移（単独）	3
新製品紹介	4
トピックス	8
貸借対照表（単独）	10
損益計算書（単独）	11
利益処分	11
営業の概況（連結）	12
業績の推移（連結）	13
事業所	14
企業データ	16
株主情報	17

株主のみなさまへ

Roland
WE DESIGN THE FUTURE

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当社第 29 期（2000 年 4 月 1 日～ 2001 年 3 月 31 日）の事業概況につきましてご報告申しあげます。
当期の業績は国内需要の低迷や為替の影響もあり厳しい内容となりましたが、利益配当金につきましては、みなさまの日頃のご支援にお応えするため、中間配当金と同額の 12 円 50 銭（中間配当金を含め年間配当金は 1 株につき 25 円）とさせていただきます。
今後とも、株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申しあげます。

２００１年６月

取締役社長　檀（だん）　克義（かつよし）

営業の概況（単独）

当期の楽器業界は、海外につきましては北米市場が個人消費需要の伸長を示したものの、国内におきましては個人消費の冷え込みが続くとともに、需要動向の変化等にも影響され全般的に厳しい状況で推移いたしました。

当社におきましては北米市場が堅調に推移いたしましたが、国内需要の低迷及びユーロ安の影響を受け、当期の売上高は 296 億 17 百万円（前期比 11.9% 減）、経常利益は 9 億 77 百万円（前期比 69.3%減）、当期利益は 10 億 53 百万円（前期比 54.2%減）の減収減益となりました。

品目別の状況は次のとおりです。

[電子楽器]

海外におきましては、北米を中心に電子パーカッション（打楽器）、ギターシンセサイザーなどが好調に推移いたしましたが、キーボードシンセサイザー及びギター用マルチエフェクターなどは国内外ともに伸び悩み、厳しい状況で推移いたしました。

[家庭用電子楽器]

電子ピアノの新製品において「高機能高価格帯」の商品が国内外ともに好調に推移いたしました。国内におきましては、単機能型で中低価格機種の販売台数が伸びず、前期をやや下回りましたが、海外におきましては特にグランドピアノタイプの高額機種が好調で、前期を上回る実績となりました。

[音響機器]

デジタルレコーダー分野のギターユーザーに特化した新製品が国内外ともに好調に推移いたしました。しかしながら、海外におけるデジタルミキサー「VM シリーズ」、国内におけるデジタルレコーダー「VS シリーズ」が低調に推移いたしました。

[コンピュータ・ミュージック関連機器他]

パーソナルコンピュータに周辺機器を簡単に接続できる新規格「USB」の普及に伴い、USB 対応製品群「USB SOUND GEAR シリーズ」が好調に推移いたしましたが、前期の売上増に貢献した「ミュージ郎シリーズ」は、厳しい状況で推移いたしました。

なお、1999 年 12 月より開始いたしました携帯電話向け着信メロディーサービスは、予想を上回る伸びを達成し、業務用映像・音楽ライブラリーも順調に推移いたしました。

技術面におきましては、人の声などを録音した「フレーズ」を自由にコントロールできる画期的な新技術「VariPhrase（バリフレーズ）」を 2000 年 2 月に発表し、大きな反響を得ました。この技術を搭載した新製品を当期は 2 機種発売いたしましたが、今後も当社の売上に寄与する種々の新製品に搭載してまいります。

また、電子楽器の国際規格である MIDI（Musical Instrument Digital Interface）のさらなる普及を目指した「MIDI 規格の互換性を高めるための相互協力」についてヤマハ株式会社との基本合意に達し、2001 年 1 月、日本と米国において両社による共同記者発表をいたしました。

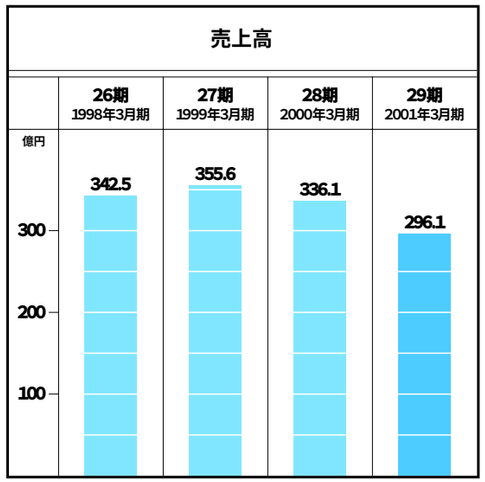
開発・生産面におきましては、上半期急速に進んだユーロ安への対応及び商品力強化を図るため、開発体制と開発計画の早急な見直しを主眼とした「NES プロジェクト」（New Euro Shift Project）を 2000 年 9 月 1 日よりスタートいたしました。

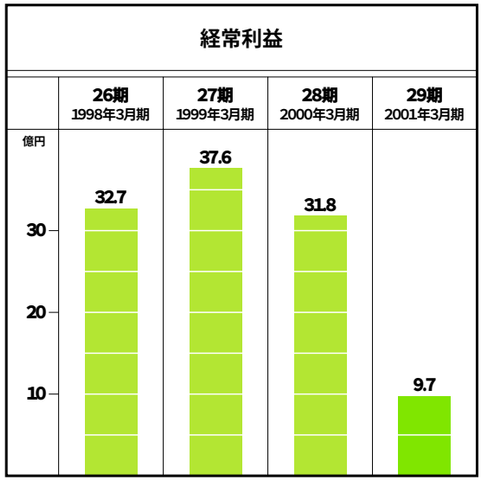
なお、現在の浜松研究所に隣接して増設を行ってまいりました研究棟（鉄骨 2 階建、延べ 2,480 ㎡）が、2001 年 5 月に完成いたしました。今後、既存研究所設備と合わせ、特に「空間音響」の研究開発を強化し、新たな基礎技術開発に注力いたします。

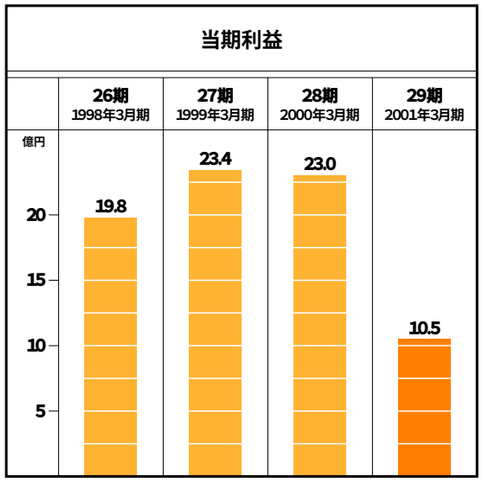
業績の推移（単独）

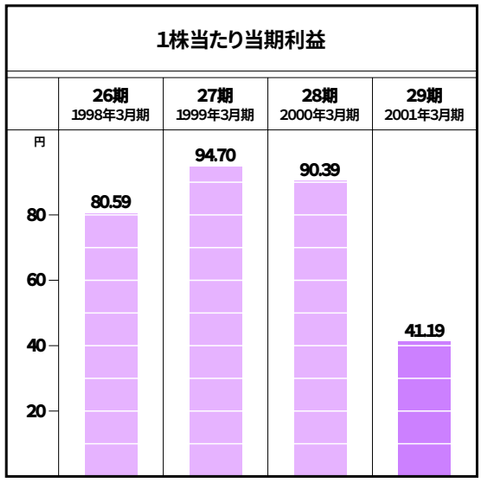
Roland
WE DESIGN THE FUTURE

注）会計処理方法の変更により、当期よりロイヤリティー収入を売上高に含めて計上しています。









ハードディスク・レコーダー「VSシリーズ」の最高峰

「デジタル・ スタジオ・ ワークステーション」VS-2480

ミキシングからレコーディング、バウンシング、エフェクトおよびマスタリング処理、トラック・ダウン、さらにオリジナルＣＤの制作まで、音楽制作プロセスを一体化したＶＳシリーズの頂点に立つ完全プロ仕様のデジタル・スタジオ・ワークステーション「VS-2480」。24 ビット /96kHz をそれぞれ実現する 24 トラック・レコーダーです。限りなくアイデアを試せる絶大なワーク・エリアを誇り、さらに高音質設計を貫いたハイクオリティなハードディスク・レコーダーです。

自動演奏に合わせて動く「自動鍵盤」を搭載

「ローランドピアノ・デジタル」KR-1077M

ローランドピアノ・デジタルの優れた基本性能に加え「自動鍵盤」を導入したグランド・タイプの最高級モデル「KR-1077M」。ピアノとしての高度な性能、デジタルならではのエンターテインメント機能に加え、風格のあるデザイン、ミュージックデータ再生に沿って自動的に鍵盤が動いて視覚効果も楽しめる「自動鍵盤」を搭載した、ホテルやラウンジなどの業務用としても最適な最高級モデルです。

新たにアコースティック感覚のシンバル「V-Cymbal」とカラーバリエーションを加えた

「ローランド・ドラム・システム」V-Drums

1997 年発売の“ V-Drums ”「 TD-10」は、打面にメッシュ状の新素材を用いたパッドと新開発音源モジュールにより、それまで電子ドラムでは表現できないと言われていた独特なドラム演奏表現や、繊細かつダイナミックなパフォーマンスを可能にするなど、世界中のドラマーに衝撃を与えてまいりました。さらにユーザーの声にお応えし、「Ｖシンバル」はアコースティックに限りなく近い感覚を追求し、演奏しやすい円形のデザインを採用。特に演奏感を決定づけるシンバルの動き、慣性、ダイナミクスは徹底的にシミュレートし、ドラマーにとって心地よい打感、自然な揺れを実現します。また、従来「ホワイトバージョン」のみで販売しておりましたＶ -Drums に「レッド」「パープル」のカラーバリエーションも登場し、視覚的にもよりステージを彩る V-Drums となりました。

「64ボイス・シンセサイザー」RS-9、RS-5

ライブ・パフォーマンスや曲づくりで威力を発揮するさまざまな機能を満載した 64 ボイス・シンセサイザーです。シンセサイザーのスタンダード・モデルとしてプロ・ユーザーに好評の XP/JV シリーズや、次世代シンセサイザー XV シリーズの音色を中心に最新サウンドをカバーする新規の音色も含めた 512 種類の音色を内蔵しています。また、マルチ・エフェクトを 42 種類搭載し、個性的で斬新なサウンドを作り出すことができます。さらに、ボディはチタン・カラーのアルミパネルを採用。高級感のあるボディでステージ効果の高いシンセサイザーです。
61 鍵シンセ鍵盤を装備した RS-5 、フル・スケール 88 鍵ウェイト付き鍵盤を搭載した RS-9 にローランド・シンセサイザーのアドバンテージを凝縮しました。

BOSSエフェクターのニューラインナップ

「ツイン・ペダル・シリーズ」Twin Pedal

ギター用エフェクターのトップ・ブランド BOSS から新シリーズ「ツイン・ペダル・シリーズ」が登場しました。コンパクト・ペダル・シリーズ同様のつまみ主体のわかりやすいユーザー・インターフェイスを継承しながら、2 つのペダルを装備することで、より専用機としての操作性、機動性を高めています。また厳選されたパーツを使用し、プロ仕様のサウンド・クォリティを実現しています。ツイン・ペダル・シリーズ第一弾は、GP-20 、EQ-20 、RC-20 の 3 モデル。いずれも専用機ならではの高音質を実現し、多用途に活用できる新しいコンセプトのエフェクターです。

Windows / Macintosh マシンに
USB 接続できる新ブランド「EDIROL」の
USB オーディオ・インターフェイス

「オーディオ・キャプチャー」UA-3

USB ケーブル 1 本で接続できるオーディオ・インターフェイスです。バス電源方式に対応しているため、電源ケーブルや AC アダプターの接続も不要。Windows/Macintosh に対応し、お使いのノート・パソコンに簡単接続するだけで高品質のオーディオ入出力が実現します。また、多彩なオーディオ入出力端子を装備しており、幅広い用途で使用することができます。そして、オプティカルのデジタル入出力端子も備えていますので、CD/MD デッキ /DAT と接続して高音質のままデジタル録音したり、パソコンで作成／編集した音楽をデジタルのまま MD に録音することができます。

グランドピアノを追究した
音とタッチをコンパクトなボディーに搭載

「ローランド・デジタルピアノ」FP-3

FP-3 はコンパクトなボディに、シャンパン・ゴールドのカラーを採用したデジタルピアノです。スペースをとらず、手軽に移動もできますので、お気に入りの場所でピアノ演奏を楽しむことができます。コンパクトながら本格的なピアノ演奏に応えるために、基本性能に一層の磨きをかけました。当社独自のプログレッシブ・ハンマー・アクション鍵盤を搭載し、88 鍵の低音域から高音域まで自然なタッチの変化を実現。さらにグランドピアノを追究した豊かなピアノ・サウンドを高品位なステレオ・サンプリング音源により再現した新感覚のデジタルピアノです。

ｉモード対応ＪＡＶＡアプリケーション
「ｉアプリ」を利用した携帯カラオケ配信サービス

「ローランド・ケイタイジューク」

好評の i モード着信音配信サービス「ローランド・サウンドギャラリー」に続き、話題の 503i シリーズにいち早く対応した「ローランド・ケイタイジューク」携帯電話カラオケ配信サービスを開始いたしました。最新ヒットから洋楽までさまざまな楽曲配信はもちろん、曲にあわせて歌詞が色変わりするなど、本格的なカラオケ仕様です。もちろん音楽ファンが納得できるローランドならではの、アレンジにこだわった携帯電話カラオケ配信サービスです。

VP-9000とBR-8が業界雑誌で2000年の栄えある賞を受賞

VP-9000 が Future Music 誌の Gear of 2000 年サンプラー部門で「SAMPLER OF THE YEAR 2000」を受賞！
単にサンプラー枠にとどまらない、未来に残る歴史的メルクマールとして扱われています。また、ハンガリーの業界雑誌 The Zen & eacute; szmagazin 誌にて「THE MUSICAL INSTRUMENT OF THE YEAR 2000」を受賞しました。
BR-8 が NAMM ショー期間中に、業界雑誌 Music Sound Retailer 誌にて、ディーラーが選ぶ「THE BEST RECORDING PRODUCT OF YEAR 2000」賞と、最優秀賞である「THE BEST PRODUCT OF YEAR 2000」賞を受賞しました。

■ VP-9000
- Future Music 誌『SAMPLER OF THE YEAR 2000』受賞
- The Zen & eacute; szmagazin 誌『THE MUSICAL INSTRUMENT OF THE YEAR』受賞

■ BR-8
- Music Sound Retailer 誌『THE BEST RECORDING PRODUCT OF YEAR 2000』受賞
- Music Sound Retailer 誌『THE BEST PRODUCT OF YEAR 2000』受賞

MIDIデータの互換性を高めるための相互協力について ローランド、ヤマハ両社が基本合意

電子楽器の国際規格である MIDI（Musical Instrument Digital Interface）のさらなる普及を目指した「MIDI 規格の互換性を高めるための相互協力」についてヤマハ株式会社との基本合意に達し、2001 年 1 月、日米両国において共同記者発表を行いました。

21世紀 夢の技術展で未来型コンサート「音のサウンドスペース」開催

2000 年 7 月 21 日から同年 8 月 6 日、東京ビッグサイトで開催された「ゆめテク 21 世紀夢の技術展」において、3 日間の特別イベントとして行われた「音のサウンドスペース」に出展いたしました。3D 立体音場をつくる RSS 効果を用い、「立体音響とマルチ映像による体感イベント」を行い、会場（約 400 ㎡）の前後左右にイメージ映像を映し出すとともに、会場をぐるりと囲むように配置された 8 台のスピーカーから流れる立体音響と演奏をじっくり味わっていただきました。

三次元立体音場表現を可能にするサウンド・スペース・プロセッサ RSS-10が映画「サトラレ」で大活躍！

2001 年 3 月 17 日（土）全国東宝系にて封切られた映画「サトラレ～ TRIBUTE to SAD GENIUS」で、劇場用映画としては初めて「RSS-10」が使われました。
主人公の里見健一（安藤政信）の Dialogue（台詞）の内、思念波（頭で考えている事が周りの人々に聞こえてしまう現象）の部分に使用されています。この思念波はストーリー上、頭の中に直接響いてくる声という設定で、音響上でもその表現をするため、3D 立体音場を実現する RSS 効果が使用されることとなりました。

販売店との連携に基づく新しいミュージック・スクール ローランドセンター第一号店がオープン

家庭用電子楽器の販売支援を目的としたプランニングを行う会社として、2000 年 4 月に設立したローランド ビジネス プラン株式会社は、ローランドセンター第一号店「ローランドセンター YAMAGAKU」を九州の佐賀にオープンいたしました。今後も販売店とのローランドセンター開設 / 共同運営のためのプランニングをさらに活発化させてまいります。

コンピュータ・ミュージックとビデオ編集機器にフォーカスした 新ブランド「EDIROL」誕生

「Roland」ブランドで展開してまいりました映像およびコンピュータ・ミュージック関連製品群、DTMP（Desk Top Media Production）を新ブランド「EDIROL」（エディロール）として販売してまいります。2001 年以降発売する DTMP 分野の製品群は、新ブランド「EDIROL」ブランドとして市場にフォーカスし展開を図ってまいります。
また、昨年より DTMP 製品につきましては 1999 年 4 月 1 日に設立いたしました「エディロール インターナショナル株式会社」に販売を委託してまいりましたが、今般の新ブランド設立に合わせ、同社名を 2001 年 4 月 1 日より「エディロール株式会社」と変更いたしました。

EDIROL
New Brand from Roland
エディロールはコンピューター・ミュージックとビデオ編集に向けた、ローランドの新しいブランドです。

都田工場がISO14001を認証取得

細江工場につづき、都田工場が ISO14001 の認証を取得いたしました。ローランドは今後も全社をあげて環境保全対策に取り組んでまいります。

貸借対照表（単独）

2001年3月31日現在

（単位：千円）

（資産の部）

流動資産	19,780,190
現金及び預金	10,654,590
受取手形	582,152
売掛金	3,482,306
商品	845,278
製品	864,334
原材料	255,626
仕掛品	568,481
貯蔵品	468,357
繰延税金資産	134,267
未収入金	1,690,142
その他	256,651
貸倒引当金	△ 22,000
固定資産	27,959,032
有形固定資産	12,618,842
建物	4,557,508
構築物	171,052
機械及び装置	262,197
車両運搬具	11,079
工具器具備品	770,246
土地	6,316,332
建設仮勘定	530,427
無形固定資産	364,646
営業権	69,713
ソフトウェア	247,693
施設利用権等	47,239
投資等	14,975,543
投資有価証券	1,563,072
子会社株式	9,440,830
出資金	127,271
子会社出資金	1,174,384
長期貸付金	908,177
長期前払費用	71,950
差入保証金	777,656
繰延税金資産	668,371
その他	329,831
投資評価引当金	△ 79,565
貸倒引当金	△ 6,437
資産合計	47,739,222

（負債の部）

流動負債	4,330,104
買掛金	1,757,956
短期借入金	1,000,000
未払金	800,087
未払費用	10,558
未払法人税等	19,751
前受金	55,436
賞与引当金	588,360
その他	97,952
固定負債	464,327
長期借入金	8,151
役員退職慰労引当金	448,300
その他	7,876
負債合計	4,794,432

（資本の部）

資本金	9,274,272
法定準備金	11,598,033
資本準備金	10,800,378
利益準備金	797,654
剰余金	22,094,479
任意積立金	20,833,835
特別償却準備金	41,041
固定資産圧縮積立金	48,793
別途積立金	20,744,000
当期未処分利益	1,260,644
（当期利益）	(1,053,283)
評価差額金	△ 21,996
その他有価証券評価差額金	△ 21,996
資本合計	42,944,790
負債及び資本合計	47,739,222

損益計算書（単独）

2000年4月1日から2001年3月31日まで

（単位：千円）

（経常損益の部）

営業損益の部：	
営業収益	29,617,273
売上高	29,617,273
営業費用	29,903,117
売上原価	21,728,317
販売費及び一般管理費	8,174,799
営業損失	285,843
営業外損益の部：	
営業外収益	1,327,936
受取利息及び配当金	1,091,333
為替差益	159,508
その他	77,094
営業外費用	64,426
支払利息	7,883
有価証券売却損	18,094
有価証券評価損	34,839
その他	3,608
経常利益	977,666

（特別損益の部）

特別利益	768,321
貸倒引当金戻入益	9,994
子会社株式売却益	458,327
私財受贈益	300,000
特別損失	353,148
固定資産除売却損	28,050
子会社株式評価損	303,782
その他	21,315
税引前当期利益	1,392,839
法人税、住民税及び事業税	504,000
法人税等調整額	△ 164,444
当期利益	1,053,283
前期繰越利益	558,979
中間配当額	319,653
中間配当に伴う利益準備金積立額	31,965
当期未処分利益	1,260,644

利益処分

Roland
WE DESIGN THE FUTURE

（単位：円）

当期未処分利益	1,260,644,381
特別償却準備金取崩額	5,863,103
計	1,266,507,484

これを次のとおり処分いたします。

利益準備金	50,000,000
利益配当金	319,654,638
（１株につき　１２円５０銭）	
役員賞与金	28,000,000
（うち監査役賞与金）	(2,400,000)
特別償却準備金	16,976,348
別途積立金	500,000,000
次期繰越利益	351,876,498

（注）1.2000年12月8日に、319,653,925円（1株につき12円50銭）の中間配当を実施しました。
2.特別償却準備金（繰延税金負債控除後）の取崩額及び積立額は、租税特別措置法の規定に基づくものです。

営業の概況（連結）

当期の概況

当期の経済環境は、海外において北米市場が個人消費需要の伸長を示したものの、国内においては個人消費の冷え込みが続くとともに、需要動向の変化等にも影響され厳しい状況で推移いたしました。

当社においても北米市場が堅調に推移したものの、国内需要の低迷およびユーロ安の影響を受け、電子楽器事業は厳しい状況で推移いたしました。また、コンピュータ周辺機器事業は日本および北米において売上高を伸長させましたが、販売費及び一般管理費の増加等により営業利益は減少いたしました。

（単位:百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株当たり当期利益	株主資本当期利益率（%）
2001年3月期	58,756	1,984	2,304	808	31円61銭	1.6
2000年3月期	61,190	5,460	5,224	3,381	132円81銭	6.8
増減率（%）	△4.0	△63.7	△55.9	△76.1	—	—

事業別営業の概況

[電子楽器事業]

日本においては、特にエレキギター市場低迷の影響によるギター用エフェクター全般 及びキーボードシンセサイザー、デジタルレコーダーが伸び悩みました。コンピュータミュージック関連機器ではMP3の普及などによりUSBオーディオ商品が好調に推移いたしました。また1999年12月より開始した携帯電話向け着信メロディーサービスおよ び業務用映像・音楽ライブラリーも好調に推移いたしましたが、「ミュージ郎シリーズ」の販売数が減少いたしました。電子ピアノでは、高機能商品が好調に推移したものの、単機能型で中低価格機種の販売台数が伸び悩みました。

北米においては、キーボードシンセサイザー、デジタルミキサーが伸び悩んだものの、電子ピアノの高機能高価格帯商品、デジタルレコーダー、デジタルドラム等の新製品が好調に推移し、売上高は前年を上回りました。

欧州においては、ユーロ安およびドイツでの競争激化の影響が加わり、全般的に伸び悩み、厳しい状況で推移いたしました。

技術面においては、人の声などを録音した「フレーズ」を自由にコントロールできる画期的な新技術「VariPhrase（バリフレーズ）」を2000年2月に発表し、この技術を搭載した新製品を当期は2機種発売いたしました。今後も当社の売上に寄与する種々の新製品に搭載してまいります。

また、電子楽器の国際規格であるMIDI（Musical Instrument Digital Interface）のさらなる普及を目指した「MIDI規格の互換性を高めるための相互協力」についてヤマハ株式会社との基本合意に達し、2001年1月、日米両国において共同記者発表を行いました。

開発・生産面におきましては、開発体制と開発計画の早急な見直しを主眼とした「NES　プロジェクト」（New Euro Shift Project）を2000年9月1日よりスタートさせ ました。

[コンピュータ周辺機器事業]

プリンターの売上構成比が6割を超える状況となり、インクジェットカラープリンター新製品を中心に需要は旺盛であり、これに付随してインク等のサプライ品も順調に売上を伸ばしました。プロッタは漸減傾向にあるものの、工作機器の売上は業務用・個人用ともに着実に増加しています。

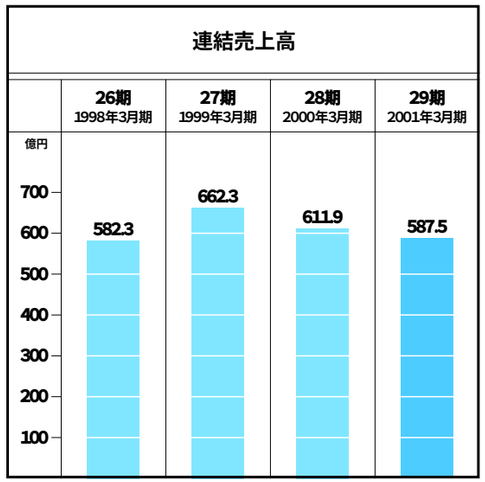
地域別の状況では、日本においては既存市場における得意先との信頼関係の強化を図るとともに、新製品や既存製品の用途開発による新たな市場の開拓など積極的な営業展開を実施した結果、売上が増加いたしました。北米においても大型カラープリンターを中心に売上が増加しましたが、欧州においてはユーロ安の影響を受けて売上は減少いたしました。

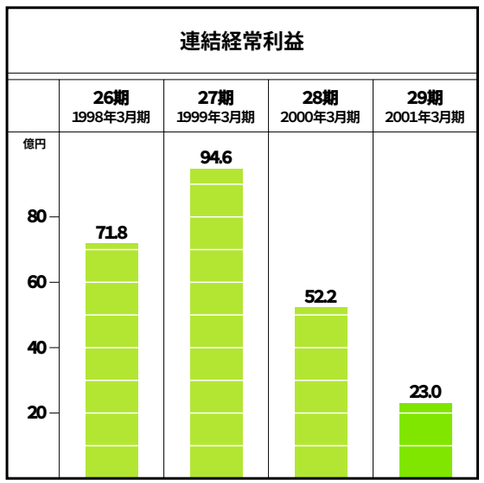
（単位:百万円）

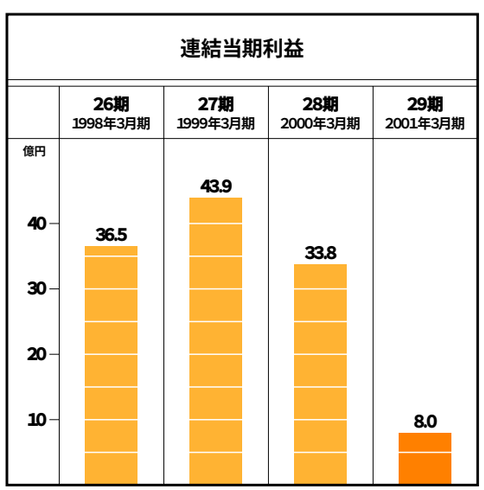
	電子楽器事業		コンピュータ周辺機器事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2001年3月期	47,005	853	11,750	1,130
2000年3月期	49,969	4,161	11,220	1,298
増減率（%）	△5.9	△79.5	4.7	△13.0

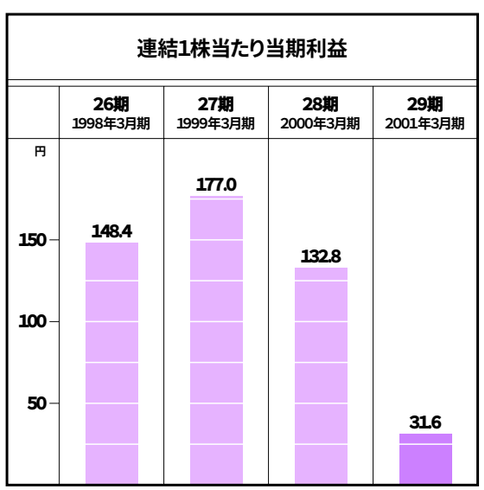
業績の推移（連結）

Roland
WE DESIGN THE FUTURE









事業所

本社（大和堂島ビル1・6・7階）

細江工場

本社		〒 530-0004	大阪市北区堂島浜 1 丁目 4 番 16 号	06-6345-9800
工場	細江工場	〒 431-1304	静岡県引佐郡細江町中川 2036 番地の 1	053-523-0230
	都田工場	〒 431-2103	浜松市新都田 1 丁目 5 番 3 号	053-428-5141
	高丘工場	〒 433-8118	浜松市高丘西 2 丁目 9 番 15 号	053-437-3111
	伊左地工場	〒 431-1111	浜松市伊左地町 3005 番地の 1	053-485-1818
	松本工場	〒 390-1242	松本市大字和田 4010 番地 5	0263-48-0211
研究所	浜松研究所	〒 431-1305	静岡県引佐郡細江町気賀 4141 番地	053-523-1771
技術センター	浜松、アメリカ（2 ヵ所）、イタリア			
試験センター	都田試験センター	〒 431-2103	浜松市新都田 1 丁目 5 番 3 号	053-428-5141
流通センター	浜松流通センター	〒 433-8118	浜松市高丘西 4 丁目 7 番 19 号	053-437-3113
営業所	札幌営業所	〒 060-0042	札幌市中央区大通西 6 丁目 2 番 6 号	011-281-0708
	仙台営業所	〒 980-0014	仙台市青葉区本町 2 丁目 10 番 33 号	022-225-6221
	東京営業所	〒 101-0041	東京都千代田区神田須田町 2 丁目 7 番地	03-3251-5595
	名古屋営業所	〒 460-0008	名古屋市中区栄 2 丁目 11 番 7 号	052-202-1881
	大阪営業所	〒 530-0004	大阪市北区堂島浜 1 丁目 4 番 16 号	06-6345-9521
	広島営業所	〒 730-0032	広島市中区立町 2 番 27 号	082-247-2731
	福岡営業所	〒 812-0011	福岡市博多区博多駅前 3 丁目 27 番 22 号	092-436-8971
海外事業所	ロッテルダム（オランダ）			

Roland
WE DESIGN THE FUTURE

ローランド・ミュージック・スクール				
	札幌センター	〒 060-0042	札幌市中央区大通西 6 丁目 2 番 6 号	011-281-1777
	大宮センター	〒 330-0845	さいたま市大宮仲町 2 丁目 23 番 2 号	048-640-5371
	渋谷センター	〒 150-0031	東京都渋谷区桜丘町 23 番 23 号	03-3770-6121
	名古屋センター	〒 460-0008	名古屋市中区栄 2 丁目 11 番 7 号	052-220-1440
	高槻センター	〒 569-0804	高槻市紺屋町 1 番 1 号	0726-85-2203
	堂島センター	〒 530-0004	大阪市北区堂島浜 1 丁目 4 番 16 号	06-6346-0552
	塚口センター	〒 661-0012	尼崎市南塚口町 2 丁目 24 番 12 号	06-6426-6664
	福岡センター	〒 812-0011	福岡市博多区博多駅前 3 丁目 27 番 22 号	092-477-7088
グループ会社（国内）				
製造	ボス株式会社	〒 432-8006	浜松市大久保町 1227 番地	053-485-7780
製造	ローランド イーディー株式会社	〒 390-1242	松本市大字和田 4010 番地 5	0263-48-0211
製造販売	ローランド テック株式会社	〒 431-1111	浜松市伊左地町 3005 番地の 1	053-485-1818
販売	ローランド アイ・ピー株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2 丁目 9 番 15 号	053-439-5331
販売	エディロール株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2 丁目 9 番 15 号	053-439-1144
デザイン	スタジオ アール株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2 丁目 9 番 15 号	053-439-3321
コンサルティング	ローランド ビジネス プラン株式会社	〒 431-1304	静岡県引佐郡細江町中川 2036 番地の 1	053-523-0230
製造販売	ローランド ディー .ジー .株式会社	〒 431-2103	浜松市新都田 1 丁目 6 番 4 号	053-484-1200

グループ会社（海外）

販売	U.S.A.	Roland Corporation U.S. Edirol Corporation North America
	Canada	Roland Canada Music Ltd.
	Brazil	Roland Brasil Ltda.
	Australia	Roland Corporation Australia Pty. Ltd.
	U.K.	Roland (U.K.) Ltd. Edirol Europe Ltd.
	Germany	Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH.
	France	Roland France S.A.
	Austria	Roland Austria GmbH
	Scandinavia (Denmark, Finland, Norway, Sweden)	Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S
	Benelux (Belgium, Holland, Luxembourg)	Roland Benelux N.V.
	Switzerland	Roland (Switzerland) AG
	Italy	Roland Italy S.p.A.
	Spain	Roland Electronics de Espana, S.A.
	Portugal	Roland Portugal S.A.
	Hungary	Intermusica Ltd.
	Taiwan	Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd.
製造	U.S.A.	Rodgers Instruments LLC Roland Audio Development Corp.
	Taiwan	Roland Taiwan Electronic Music Corp.
	Italy	Roland Europe S.p.A.

企業データ

会社の概要（２００１年３月３１日現在）

商号	ローランド株式会社（Roland Corporation）
設立	１９７２年４月１８日
資本金	９，２７４百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器及びそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
売上高	２９，６１７百万円（２００１年３月期）
従業員数	８４０名

売上高の品目構成比（単独）

輸出売上比率　66.8%

役員一覧（２００１年６月２２日現在）

取締役社長（代表取締役）	檀　克義
専務取締役（代表取締役）	新田　寛
専務取締役	菊本　忠男
常務取締役	西澤　一朗
常務取締役	三木　純一
常務取締役	飯村　泰弘
取締役	庄司　東生
取締役	本村　定則
取締役	上野　博司
取締役	赤松　啓至
取締役	近藤　公孝
取締役	田中　英一
常勤監査役	甲佐　諭
常勤監査役	古河　拓
監査役	上田　茂實
監査役	川島　実

会計監査人　監査法人 トーマツ

株主情報

Roland
WE DESIGN THE FUTURE

株主メモ

決算期	３月３１日
定時株主総会	６月
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所市場第一部
公告掲載新聞	日本経済新聞
株式名義書換停止期間	４月１日から４月３０日まで 臨時に停止する場合は、あらかじめ公告する期間。
名義書換代理人	大阪市中央区北浜二丁目４番６号 株式会社だいこう証券ビジネス
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜二丁目４番６号 株式会社だいこう証券ビジネス　本社証券代行部 電話　大阪 06-6203-1751（代表）
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス　各支社
単位株数	１００株

■配当金口座振込のおすすめ　配当金のお受取りは、口座振込が便利です。口座振込の場合は、支払開始日に自動的にご指定口座へ入金させていただきますので、受取り忘れといったこともなくなり安心です。
なお、銀行口座振込に加えて郵便貯金口座への振込もできるようになりました。次回から口座振込による配当金のお受取りをご希望の場合は、当社名義書換代理人（株式会社だいこう証券ビジネス）に「配当金振込指定書」をご請求ください。

株式の状況（２００１年３月３１日現在）

■発行する株式の総数	５０，０００，０００株
■発行済株式の総数	２５，５７２，４０４株
■株主数	５，７５０名

■大株主

株　主　名	当社への出資状況		当社の大株主への出資状況	
	持株数（千株）	持株比率（%）	持株数（千株）	持株比率（%）
梯　郁太郎	3,084	12.1	ー	ー
パイオニア株式会社	2,319	9.1	ー	ー
ノーザン トラスト カンパニー（エイブイエフシー）サブ アカウント アメリカン クライアント（常任代理人　株式会社東京三菱銀行）	1,715	6.7	ー	ー
財団法人ローランド芸術文化振興財団	1,585	6.2	ー	ー
株式会社 大和銀行	802	3.1	1,984	0.1
三菱信託銀行株式会社（信託口）	797	3.1	ー	ー
ローランド社員持株会	689	2.7	ー	ー

Roland

WE DESIGN THE FUTURE

http://www.roland.co.jp/